

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		木くずや木の皮などは、木屑ボイラーで適切に処理している。焼却灰(年に一度成分検査を実施)は専門業者に委託して処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		事業全体で省エネに取り組むEV車2台、ハイブリッド車5台を導入している。重油活用の乾燥機を木屑ボイラーに転換している。簡易計算シートを使いエネルギー使用量を把握している。(2023年度原油換算エネルギー:730kl)							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		重油活用の乾燥機を木屑ボイラーに転換し、CO2削減に貢献している。簡易計算シートを使い温室効果ガス排出量を把握している。(2023年度CO2排出量:1,165)		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		山都町を中心に約90haの森林の適切管理を通じて生態系の維持に取り組んでいる。今後隣接のまとまった広さの山林があれば購入を予定している。						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		森林認証マーク入り用紙の利用を推進している。また、裏紙の利用も行っている。また、木くずや木の皮などを木屑ボイラー燃料として無駄なく活用している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		山都町を中心に約80haの森林の適切管理を通じて生態系の維持に取り組んでいる。今後隣接のまとまった広さの山林があれば購入して、さらなる水の保全に貢献していく。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		森林認証マーク入り用紙の利用を推進している。また、裏紙の利用も行っている。事務所と工場内の照明はLEDに切り替えている。										9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		社有林伐採、植林、鹿防護柵の設置に取り組んでいる。 「植林の実施状況」 1.08ha2,200本(2022年4月)、 2.14ha4,200本(2022年10月)、 1.78ha3,600本(2023年2月)、 3.36ha6,700本(2023年11月) ※全てに鹿防護柵を設置している。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		照明は全てLEDなどの省エネ機器に交換している。また、こまめな消灯に配慮している。EV車を2台、ハイブリッド車を5台導入している。							7.1 7.2 7.3 7.a			9.4			11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		社有林伐採、植林、鹿防護柵の設置に取り組んでいる。 「植林の実施状況」 1.08ha 2,200本(2022年4月)、 2.14ha 4,200本(2022年10月)、 1.78ha 3,600本(2023年2月)、 3.36ha 6,700本(2023年11月) ※全てに鹿防護柵を設置している。						6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		2024年1月までに16,000本の植林を実施している。							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		社有車EV2台、ハイブリッド車5台を使用している。工場内リフト1台をEV車への入れ換えを検討している。												9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		自社所有林70haの維持、管理を行うとともに木屑ボイラーの使用により、年間3,000トンのCO2削減を行った。								7.1 7.2 7.3 7.a				9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

